

令和7年度（公社）砂防学会研究発表会「長野大会」

研究発表会「長野大会」実行委員会

令和7年度（公社）砂防学会研究発表会を、下記により開催いたしますのでお知らせします。多数のご参加と研究発表をお願いいたします。

なお「砂防学会研究発表会」は、CPD（技術者継続教育）の履修実績として申請することができます（CPDに関するお問い合わせ先：砂防学会事務局 TEL：03-3222-0747）。

I. 令和7年度（公社）砂防学会研究発表会「長野大会」実施要領

1. 期 日 令和7年5月28日（水）～30日（金）

2. 開催方法 現地開催

会場：研究発表会

ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）（長野市若里 1-1-3）

長野市若里市民文化ホール（長野市若里 3-22-2）

意見交換会

ホテルメトロポリタン長野 浅間の間（長野市南石堂町 1346；JR 長野駅ビル直結）

3. 日 程 下記のとおりですが、今後変更することがあります。

		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
5/28 （水）	現地会場		受付	口頭発表	昼休憩		開会式・授与式	特別講演・学会賞講演	企画・テーマ別セッション	国際交流会			意見交換会
			ポスター展示	コアタイム				ポスター展示				移動	
								行政・企業展示					
5/29 （木）	現地会場		口頭発表	昼休憩			口頭発表					閉会式	
			ポスター展示	コアタイム			ポスター展示						
							行政・企業展示						
5/30 （金）	現地研修会		「上高地コース」上高地・焼岳、大正池の成り立ちと河床上昇対策										
			「浅間山コース」浅間山火山噴火対策、令和元年東日本台風災害対策										
			「小谷・姫川コース」日本三大崩れ「稗田山」とH7年長野県北部豪雨災害から30年										

4. 開会式と砂防学会賞授与式、学会賞受賞論文発表会

大会初日の5月28日（水）午後1時30分から開会式を開催し、令和7年度の砂防学会賞授与式を行います。同日午後3時30分から、砂防学会賞受賞者による受賞論文内容の発表を行います。

5. 特別講演（一般公開）

5月28日（水）午後2時30分から特別講演を開催します。一般公開となります。

講 師：荻原 健司 氏（長野市長、アルベールビルオリンピック、リレハンメルオリンピック冬季競技大会スキー・ノルディック複合団体金メダリスト）

講演内容：大規模な土砂災害をもたらした令和元年東日本台風災害をはじめとする度重なる台風災害など多くの自然災害を経験してきた長野県の県都長野市の首長である荻原市長に、「（仮）令和元年東日本台風災害から5年～更なる復興と選ばれる都市の実現に向けて」と題して、復旧復興の経過やこれからの防災対策についてお話しいただきます。

6. 申込方法と参加費

研究発表会の参加申し込みにつきましては、学会ホームページの参加申込受付システム（WEB 申込）により行います。概要集掲載原稿の投稿を行った方も必ず参加申し込みを行って下さい。詳細は「V.」をご覧ください。

7. 研究発表会「長野大会」実行委員会

委員長	堤 大三	信州大学教授
委員	権田 豊	新潟大学教授
委員	古谷 元	富山県立大学教授
委員	西井 稜子	新潟大学准教授
委員	久加 朋子	富山県立大学准教授
委員	福山泰治郎	信州大学助教
委員	野坂 隆幸	国土交通省関東地方整備局河川部河川計画課課長補佐
委員	梅田ハルミ	国土交通省北陸地方整備局河川部建設専門官
委員	大西 竜太	国土交通省中部地方整備局河川部河川計画課課長補佐
委員	村松 義昭	林野庁関東森林管理局計画保全部治山課長
委員	立澤 和実	林野庁中部森林管理局計画保全部治山課長
委員	吉柳 岳志	国立研究開発法人土木研究所雪崩・地すべり研究センター長
委員	吉村 元吾	長野県建設部砂防課参事兼課長
委員	小澤 岳弘	長野県林務部森林づくり推進課長
委員	本臼 茂	朝日航洋株式会社
委員	澤 陽之	アジア航測株式会社
委員	長井 義樹	応用地質株式会社
委員	神野 忠広	共和コンクリート工業株式会社
委員	藤井 雄次	国土防災技術株式会社
委員	福田 光生	ダイチ株式会社
委員	清野 耕史	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
委員	河合 政岐	日本工営株式会社
委員	高橋 裕史	一般社団法人北陸地域づくり協会
委員	酒谷 幸彦	公益社団法人砂防学会事務局長

II. 令和7年度砂防学会研究発表会要領

1. 発表セッション

発表方法は口頭発表とポスター発表を設け、どちらも現地発表（対面形式）のみ開催します。発表申し込みの時点で口頭発表かポスター発表かを選択頂きますが、会場およびスケジュールの都合で発表形式の変更をお願いする場合があります。その判断は実行委員会に一任願います。口頭発表のセッションでは、企画セッション、テーマ別セッションおよび一般セッションを設けます。口頭発表につきましては、ご自身のPCをご使用いただきます（企画・テーマ別・一般セッションすべて）。企画セッション、テーマ別セッションは以下のとおりです。

【企画セッション】

気候変動が土砂災害に及ぼす影響評価

近年、豪雨の激甚化が目に見えるスピードで進行しているように感じます。しかも、今後もこの傾向が続くまたは加速すると言われています。このような状況を考えた場合、砂防学会としても、一刻も早く気候変動で土砂災害がどう変化するか？を明らかにするとともに、変化する土砂災害にどのように備えるか？を考え始める必要があるのではないのでしょうか。気候変動と土砂災害に関する研究・技術開発は、多岐にわたる対象現象、視点、アプローチが考えられます。そこで本企画セッションでは、少しでも早い備えに貢献すべく、対象現象、視点、アプローチにこだわらず、気候変動と土砂災害について考え、議論する機会にできればと思います。

コーディネーター：内田 太郎 氏（筑波大学）

【テーマ別セッション】

（1）砂防施設の効果的・効率的な機能確保について

近年、より効果的に施設効果を得るために、透過型砂防堰堤や遊砂地、流木対策施設といった砂防施設が多く建設されています。これらの施設は、除石・除木等によるメンテナンスが必要ですが、予算の限られる中、施設構造や維持管理手法に工夫を図ることで、メンテナンスのコストを最小限にすることが望まれます。例えば、シャッター付砂防堰堤は、出水時と非出水時で人為的に施設形状を切り替えることにより、メンテナンスにかかるコストを最小限にしながら、最大限の効果を目指した事例です。本セッションでは、より効率的に砂防施設がその効果を継続的に発揮することが出来るように、適切な施設構造やメンテナンス（除石・除木等）について、その事例等も踏まえながら議論を行います。

コーディネーター：嶋 丈示 氏（砂防・地すべり技術センター）

（２）地震によって発生する土砂災害とその対策

2024年1月1日に能登半島沖でM7.6の大規模な地震が発生し、斜面崩壊や土石流・泥流などによる直接的な土砂災害とともに、河道への土砂の流入による河道閉塞に起因した氾濫や天然ダムの形成による長期の避難など、間接的な土砂災害も発生しました。その後、9月の豪雨によっても土砂災害が発生し、地震と豪雨の複合災害に発展しました。近年では、2016年の熊本地震、2018年の胆振東部地震においても広範囲で大規模な土砂災害が発生しています。これらの地震による土砂災害を対象とした検討によって得られた知見や研究成果などを踏まえ、今後の地震や複合的な土砂災害に対する効率的・効果的な対策の可能性について議論します。

コーディネーター：堤 大三 氏（信州大学）

2. 発表者の資格

発表者は、発表申込時点および研究発表時点において砂防学会の個人の正会員か学生会員に限り、グループでの発表の場合は、発表者が会員であることが必要です。ただし、実行委員会が必要と認めた場合に限り、非会員も発表できます。なお、発表者とは口頭発表では登壇して発表するもの（1名）を指し、ポスター発表では会場にて質疑応答を行うもの（代表者1名）を指します。発表者としての件数は、テーマ別セッションを含めた口頭発表もしくはポスター発表のどちらか1件とします（発表者以外の共著者の場合はこの限りではありません）。

3. 発表内容

土石流、山崩れ、表面侵食、地すべり、地震や噴火に起因した土砂流出等の土砂災害およびそれらの防止工事、斜面緑化、森林水文、森林が土砂流出に与える影響、土砂災害対策と生態系保全、砂防の社会的評価に関するもので、原則として学会等に未発表のものに限り、発表します。

4. 発表方法

口頭発表は現地会場において対面形式のみとします。発表につきましては、ご自身のPCをご使用ください。発表前に接続確認をお願いします。ポスター発表も現地会場での対面形式となります。詳細は、砂防学会ホームページ「令和7年度（公社）砂防学会研究発表会「長野大会」」（<https://jsece.or.jp>）に掲載するとともに、発表者に連絡します。

5. 発表申し込み（2月12日に終了しました）

本大会の発表申し込みは、すべて原稿投稿システムによるオンラインで受け付けました。

6. 概要集掲載原稿の投稿

概要集掲載原稿の投稿もすべて原稿投稿システムによるオンラインで受け付けます。下記の原稿作成要領に従って原稿を作成し、PDF形式（2MB以下）に変換して投稿して下さい。ポスター発表についても概要集原稿の投稿が必要です。

概要集掲載原稿の提出期限は令和7年4月8日（火）です。提出期限以降は受け付けられませんので、期限厳守をお願いいたします。なお、投稿を行っても参加申し込みにはなりません。参加申し込みは別途行って下さい。

7. 研究発表要領に関する問い合わせ先

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

信州大学農学部 福山 泰治郎

e-mail: tjrfkym@shinshu-u.ac.jp

Ⅲ. 砂防学会研究発表会概要集掲載原稿作成要領

本大会では概要集の印刷・配布は行いません。提出されたPDFファイルの原稿にページを付した後、砂防学会ウェブサイトに掲載します。以下の諸点に留意の上、鮮明な原稿の提出をお願いします。

1. 原稿書体

原稿は原則としてMS Word等のワープロソフトで作成して下さい。

2. 原稿用紙および文字のサイズ

用紙サイズはA4とし、上15 mm、下25 mm、左20 mm、右10 mmの余白を確保して下さい。1行の文字数および1ページの行数は自由とします。ただし、文字のサイズは10ポイント以上とします。

3. 原稿枚数

2ページとします。1ページあるいは3ページ以上は受け付けません。

4. 題名および氏名

題名および氏名は必ず発表申し込み時と同一にして下さい。（齟齬があった場合でもプログラムの修正は原則行いません）。題名は第1行目の中央に書き、1行あけて所属、発表者名（連名の場合は発表者の先頭に○印を付ける）を右側に寄せて書いて下さい。題名は本文よりやや大きめに書いて下さい。1行あけて本文を書き始めて下さい。

5. 使用する文字

使用する文字や仮名遣いは、原則として「常用漢字表」「現代仮名遣い」に従って書いて下さい。

6. 改行

改行した場合の次の行は、必ず1字あけて書き始めて下さい。

7. 文字の割付

句読点、（ ），：，引用記号および1桁アラビア数字には1マスをあて、アルファベットおよび2桁以上のアラビア数字には2字で1マスをあてて下さい。

8. 見出し番号

本文の章、節等には次の記号を使用して下さい。

章 1, 2, 3

節 1. 1, 1. 2, 1. 3

節以下 1. 1. 1, 1. 1. 2, 1. 1. 3

9. 参考文献

内容に関係のある参考文献を最後に記載して下さい。

10. 図表・写真

図表・写真は鮮明なものを使用し、原則として本文の間の所定の位置に挿入して下さい。左右に余白ができたときは、その部分にも本文を記入して下さい。カラーの図および写真を使用しても構いません。

11. 原稿のPDF化と取り扱い

完成した原稿は、PDF化ソフト（Adobe Acrobat等）を用い、フォントを埋め込んだPDFファイル（2MB以下）を作成して下さい。**原稿にはページ番号を入れないで下さい。**なお、PDF化された原稿からそのまま概要集を作成しますので、不鮮明なものについては再提出をお願いすることがあります。ご了承下さい。

12. 原稿作成要領に関する問い合わせ

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

信州大学農学部 福山 泰治郎

e-mail: tjrfkym@shinshu-u.ac.jp

IV. 現地研修会

砂防学会会員を対象に現地研修会を大会3日目の5月30日（金）に行います。全3コース（各コース定員40名）の規模で行います。

1. 参加資格・参加員数・集合出発時刻・参加費

- ・参加申し込みは砂防学会正会員，学生会員及び名誉会員に限定いたします。
- ・参加申し込みは先着順とします。定員に達しましたら，以降のお申し込みをお断りすることがあります。また，お申し込みが非常に少ない場合には，中止の可能性あります。ご了承下さい。

(1) 上高地コース

（上高地・焼岳、大正池の成り立ちと河床上昇対策）

- ・集合地：JR 長野駅東口
- ・出発時刻：5月30日8時00分（集合時間は出発時刻の10分前です）
- ・参加費（税込み）：6,000円（参加人数によっては今後変更あり）

(2) 浅間山コース

（浅間山火山噴火対策、令和元年東日本台風災害対策）

- ・集合地：JR 長野駅東口または善光寺西側駐車場（どちらで乗車いただいても結構です）
- ・出発時刻：
JR 長野駅東口 5月30日8時00分（集合時間は出発時刻の10分前です）
善光寺西側第四駐車場 5月30日9時00分（集合時間は出発時刻の10分前です）
- ・参加費（税込み）：5,000円（参加人数によっては今後変更あり）

(3) 小谷・姫川コース

（日本三大崩れ「稗田山」と平成7年長野県北部豪雨災害から30年）

- ・集合地：JR 長野駅東口
- ・出発時刻：5月30日8時30分（集合時間は出発時刻の10分前です）
- ・参加費（税込み）：5,000円（参加人数によっては今後変更あり）

2. 主な行程と予定時間

(1) 上高地コース

- ・5/30（金）8:00 JR 長野駅東口 → 10:30 上高地梓川釜ヶ淵堰堤見学 → 11:05 大正池でバス下車（上高地バスターミナルまで徒歩で移動，途中で八右衛門沢砂防堰堤，梓川河床上昇対策等の説明を行います） → 12:35 昼食・自由時間（弁当配布予定） → 14:30 上高地バスターミナル出発 → 16:00 松本駅到着 → 17:20 長野駅到着

(2) 浅間山コース

- ・5/30（金）8:00 JR 長野駅東口 → 善光寺観光 → 9:00 善光寺西側駐車場 → 9:30 令和元年東日本台風長野市穂保千曲川破堤箇所復旧現場見学 → 11:20 令和元年東日本台風佐久市滑津川破堤箇所現場見学 → 12:05 昼食会場（佐久市内予定） → 13:30 軽井沢町濁川直轄火山砂防事業見学 → 14:30 軽井沢駅到着 → 16:05 長野駅到着

(3) 小谷・姫川コース

- ・5/30（金）8:30 JR 長野駅東口 → 10:00 小谷村浦川スーパー暗渠砂防堰堤見学 → 10:25 幸田文「歳月
茫々」碑見学 → 11:15 平成7年災害小谷村湯原沢見学 → 11:45 昼食会場（小谷村内予定） →
13:30 令和5年災害白馬村黒豆沢現場見学 → 13:55 「はじめに砂防ありき」碑見学 → 14:15 JR 白馬
駅到着 → 15:15 JR 長野駅到着（途中でマイクロバスに乗り換える区間があります）

3. 服装

- ・雨具の準備は、各自でお願いします。
- ・工事現場などを見学しますので、各自、適切な服装、靴等でご参加下さい。特に上高地コースは天候の悪化や
気温の低下も考えられますので、雨具・防寒着等の携行をお願いします。
- ・工事現場における参加者用のヘルメットは、現場事務所で準備します。

4. 手荷物

- ・各自、乗車バスのトランクルームをご利用下さい。貴重品の管理は各自でお願いします。

5. 雨天時の対応

- ・雨天等により当日中止となった場合、集合場所で連絡します。この場合の参加費の払い戻し等については、後
日、学会事務局よりご登録のメールアドレスに連絡します。

6. CPD

- ・CPD 受講証明書は現地研修会終了時に配布します。
- ・CPD 単位は2.0の予定です。

7. 保険

- ・国内旅行傷害保険に加入します。

V. 令和7年度（公社）砂防学会研究発表会参加申し込みのご案内

1. 参加申し込み

参加の申し込みは、砂防学会ホームページから行って下さい（WEB 申込）。WEB 申込ページの入力フォーマット
に従って直接入力して下さい。団体の場合も、WEB 申込をして下さい。見積書、請求書は WEB サイトから出力で
きます。クレジット決済、コンビニ決済、あるいは銀行振込をご利用下さい。

領収書は学会にて入金を確認した後に WEB サイトから出力できるようにいたします。

受付期間は令和7年4月1日（火）（予定）～4月30日（水）で、コンビニ決済ならびに銀行振込の入金期限
は5月12日（月）です。

参加費は下記のとおりですが、今後多少の増減があることをご了承ください。お手数でも受付期間前に再度学
会 HP をご確認ください。

4月30日（水）までに参加申し込みをされた場合

- ・研究発表会参加費（予定）
- ・正会員 7,000 円
- ・非会員 10,000 円
- ・学 生 無料
- ・意見交換会参加費
（予定、参加人数によっては今後変更あり）
- ・正会員 7,500 円
- ・非会員 8,500 円
- ・学 生 1,000 円

※参加費は5月12日（月）までに前納してください。なお、入金後に取消し等の返金はいたしません。

当日参加の場合

- ・研究発表会参加費（予定）

- ・正会員 10,000 円
- ・非会員 13,000 円
- ・学 生 無料
- ・意見交換会参加費
(予定, 参加人数によっては今後変更あり)
- ・正会員 8,500 円
- ・非会員 10,000 円
- ・学 生 2,000 円

2. 申し込み締切日

令和7年4月30日(水)

3. 申し込み後の変更・取り消しについて

申し込み後に変更・取り消しが生じた場合は、学会事務局までご連絡下さい。

E-mail: sabo274@abox3.so-net.ne.jp

4. 個人情報の取り扱いについて

お送りいただきました個人情報については、連絡のために利用させていただく他、申し込みいただいた「令和7年度(公社)砂防学会研究発表会「長野大会」」の円滑な運営のために必要な範囲内で利用します。

5. 受付会場について

長野大会は2会場開催となっていますが、受付についてはメイン会場である「ホクト文化ホール」で行います。若里市民文化ホールについては1日目午前に発表のある方、同じく聴講される方を対象に、サブ受付を配置します。直接同ホールに行かれる方はご利用ください。

6. 参加者番号について

長野大会から、受付時の混雑緩和を目的に、参加申し込み者全員に4桁の「参加者番号」を付与させていただきます。番号による参加者確認を行います。

「参加者番号」は、参加申込後にシステムから自動送信される受付確認メールに表示されます。また、参加費振込み後に「マイページ」よりダウンロードできる参加票にも表示されます。そのため

- ・参加票を印刷して当日持参
- ・スマートフォンなどにダウンロードして持参
- ・参加者番号をメモして持参

などの方法により、番号を持参いただいて、受付で円滑に番号を提示いただくよう、ご準備・ご協力をお願いいたします。

【申し込み・入金】

申し込みのステップ	内 容
①砂防学会 ホームページ	https://jsece.or.jp/ 「令和7年度(公社)砂防学会研究発表会「長野大会」」のページに、申込専用ページへのリンクが掲載されます。
②お申し込み	入力フォーマットに従って直接入力して下さい。 <u>※送信後、自動返信で受付け確認が送信されます。</u>
③見積書・請求書	参加費の見積書および請求書は申込専用ページから出力できます。

④参加費のお支払い	クレジット決済，コンビニ決済，あるいは銀行振込をご利用下さい。銀行振込をされる場合の振込手数料は申込者負担となります。
⑤領収書および参加票	学会が入金を確認しましたら，申込専用ページから領収書および参加票（研究発表会）が出力できます。
⑥変更・取り消し	学会事務局までご連絡下さい。sabo274@abox3.so-net.ne.jp <u>※入金後の返納不可</u>

※参加申込期間は令和7年4月1日（火）～令和7年4月30日（水）の予定です。

◆お問い合わせ先

砂防学会事務局

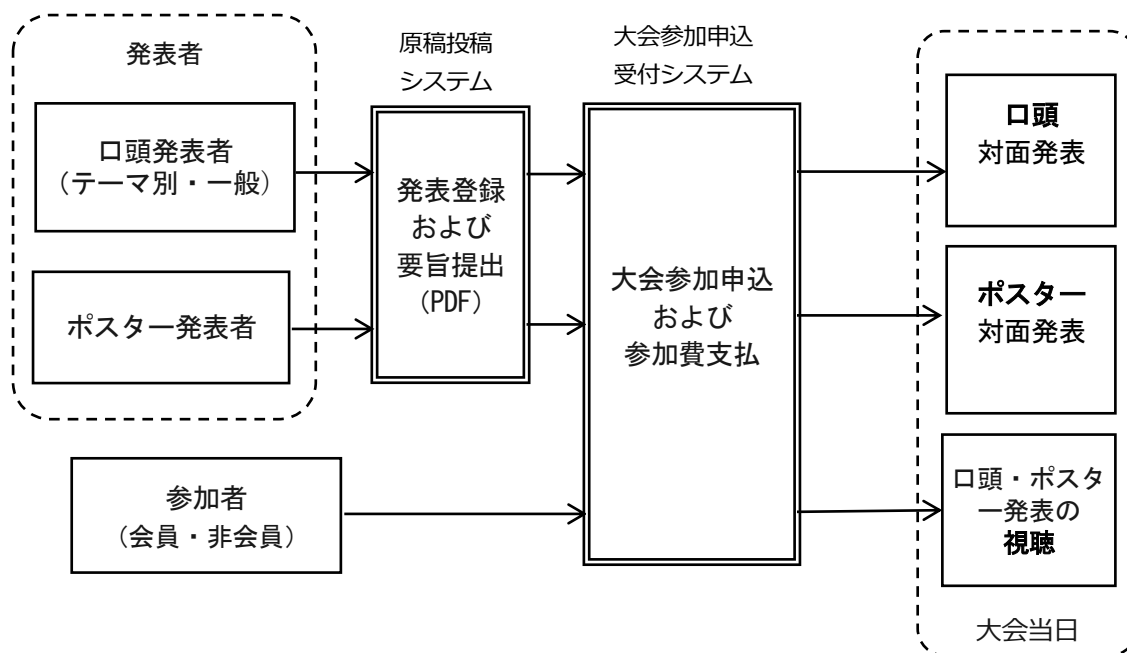
住所 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 A 棟 3 階
公益社団法人 砂防学会

FAX 03-3230-6759 受付時間：月～金 10：00～16：00

ホームページ <https://jsece.or.jp/>

E-mail: sabo274@abox3.so-net.ne.jp

◆発表・参加申し込み模式図



VI 会場へのアクセスについて



駐車場に限りがあり、大会以外の利用者もあることから、できるだけ徒歩もしくは公共交通機関等の利用をお願いします。

○ 徒歩の場合

JR 長野駅東口から

ホクト文化ホールまで約 10 分、若里市民文化ホールまで約 25 分

ホクト文化ホールと若里市民文化ホール間は徒歩約 19 分です。

○ 路線バスの場合

JR 長野駅から

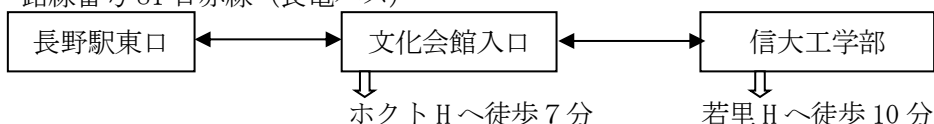
善光寺口からは②番乗り場

東口からは②番乗り場から会場方面のバスが運行しています。

○ 長野駅から各会場最寄りバス停への路線案内

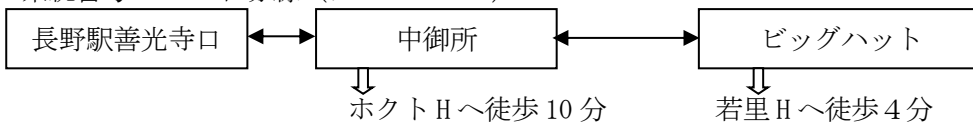
【東口】②バス停から

路線番号 81 日赤線（長電バス）



【善光寺口】②バス停から

系統番号 16.17.21 日赤線（アルピコバス）



○ シャトルバス運行のご案内

長野大会開催初日、ご参加の皆様の利便性を図るため、長野駅とホクト文化ホール/若里市民文化ホールを結ぶ無料シャトルバスを以下のとおり運行いたします。

■ 運行期間、運行時間

5月28日（水）9時から13時20分まで（時間帯により運行区間が異なります）

約12分間隔で運行します。乗車状況、道路事情により運行間隔は変わる場合があります。

■ 運行区間

9時から10時まで発車

長野駅東口 → ホクト文化ホール → 若里市民文化ホール → 長野駅東口回送

10時15分から13時まで発車

ホクト文化ホール ⇄ 若里市民文化ホール

（ホクト文化ホール最終到着予定 13時20分）

■ 乗車・降車場所

いずれもスタッフが誘導いたします。添付の位置図をご参照ください。

長野駅東口：ユメリアバスパーク

ホクト文化ホール：駐車場西側指定位置、若里市民文化ホール：会場前バス停車場

■ 注意事項

- ・学会参加者限定です。乗車時に参加証または受付で受領されたネームホルダーをご提示ください。
- ・満席の場合は次便をご利用いただくことがあります。予めご了承ください。



